

新刊
12.23
発売

国語が得意科目になる 「お絵かき」トレーニング

日本の「読解力」が8位に後退（2015年PISA調査結果*）
一生ものの国語の基礎が身につく画期的ワーク

国語という教科には、漢字や四字熟語といった覚えるべき知識もありますが、「読解」においては、つねに文章を理解しているかいないかを確認しながら進める必要があります。

親としては、「本当にわかっているのか？」と気になるころですが、実は、子どもが文章の内容を理解しているかどうかは、文章から読み取った内容を「絵」に描かせてみればわかります。

逆に、「絵」を見せて、それを「文章」で説明させることによっても、読解力・理解力を測ることができます。

本書は、このような「絵から文」「文から絵」のワークに取り組むことによって、一生ものの国語力の基礎＝「理解力」を鍛えるものです（小学校3年生以上推奨）。



『国語が得意科目になる
「お絵かき」トレーニング』
坂本 聡 著
ISBN：978-4-7993-2016-7
1,500円（本体価格）
本のサイズ：A5判
発売日：2016年12月23日

内容見本



<著者略歴>

坂本 聡（さかもと・さとし）

1972年東京生まれ、一橋大学商学部卒業。

小学生の頃からフランス語を学び、高校在学中、ベルギー王国に留学。そこで「理解し考えることの本質」に気づき、帰国後に国語の成績が上がった経験を持つ。大学、サラリーマン時代を通じ、「思考、コミュニケーション」の重要性を痛感。フランス語の学習法などをヒントに、考える力を養える独自の国語カリキュラムを構築した。

1999年、東京・渋谷で「考学舎」を設立。登校・不登校を問わず、受験のためだけではない、人を育てる小中高一貫カリキュラムで丁寧に生徒を育成。多くの生徒が10年単位で通い、自ら学ぶ力をつける場となっている。2015年には、「これからの教育」として、日本教育新聞に取り上げられた。昭和医療技術専門学校日本語表現法・思考法講師。

*2016年12月、学力到達度調査(PISA)の結果が発表され、日本の「読解力」は8位に後退したことが大きく報道されました。

「視覚的な情報と言葉との結びつきが希薄になり、知覚した情報の意味を吟味して読み解くこと」が改善すべき課題として指摘されています（http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2015/05_counter.pdf）。

本書は、まさにその「視覚的な情報と言葉との結びつき」を強化しようとするものです。ぜひ、教育に携わる方にも本書の「絵から文」「文から絵」ワークをお試しいただけますと幸いです。

講演・取材などのお問い合わせ：ディスカヴァー・トゥエンティワン 広報 田中
E-mail pr@d21.co.jp TEL 03-3237-8325 FAX 03-3237-8323